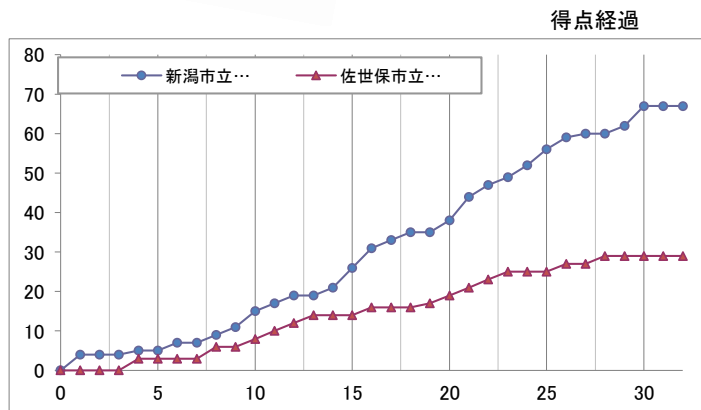




大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	沖縄市体育館																
日時	2017年8月23日(水)	10:50															
コート	OCコート 第2試合																
カテゴリー	男子予選リーグGブロック																
主審	林原 潤																
副審	工藤 央弥																
TEAM A		TEAM B															
鳥屋野 (新潟県)	67 ○	日野 (長崎県) ●															
<table border="1"> <tr> <td>9</td><td>1st</td><td>6</td> </tr> <tr> <td>22</td><td>2nd</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>21</td><td>3rd</td><td>9</td> </tr> <tr> <td>15</td><td>4th</td><td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="3">-</td> </tr> </table>			9	1st	6	22	2nd	10	21	3rd	9	15	4th	4	-		
9	1st	6															
22	2nd	10															
21	3rd	9															
15	4th	4															
-																	



BOXスコア

TEAM A		新潟市立鳥屋野中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	吉井 諒	/	4	1	0	1	2	
5	小川 敦也(CAP)	×	11	0	4	3	3	
6	成澤 頼	×	20	0	8	4	1	
7	品田 真吾	×	13	3	2	0	2	
8	山崎 悠真	/	3	1	0	0	0	
9	平岡 陸太郎	/	0	0	0	0	0	
10	長野 幹大	/	0	0	0	0	0	
11	畑山 錬	/	0	0	0	0	0	
12	塚野 真生	/	0	0	0	0	0	
13	小澤 太智	/	0	0	0	0	2	
14	五十嵐 奏人	/	0	0	0	0	0	
15	島倉 欧佑	×	10	0	5	0	0	
16	加藤 健人	×	6	0	3	0	2	
17	鶴間 大翔	DNP	0	0	0	0	0	
18	鷲尾 風河	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	堀 里也						0	
合計			67	5	22	8	12	

TEAM B		佐世保市立日野中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	植盛 竜次(CAP)	×	0	0	0	0	0	
5	志水 将修	/	0	0	0	0	0	
6	河野 大翼	×	1	0	0	1	3	
7	酒井 郁	/	0	0	0	0	2	
8	田中 翔馬	/	0	0	0	0	0	
9	アゼベド ザッカリー 龍	×	0	0	0	0	4	
10	中山 雄賀	/	0	0	0	0	0	
11	米須 玲音	×	20	0	9	2	3	
12	松田 朋也	/	0	0	0	0	0	
13	南川 雅斗	×	4	0	2	0	2	
14	田中 聖輝	/	0	0	0	0	0	
15	松田 和也	/	0	0	0	0	0	
16	植盛 文太	DNF	0	0	0	0	0	
17	榮谷 嵩裕	/	0	0	0	0	0	
18	松尾 歩夢	/	4	0	1	2	2	
コーチ	梅崎 信久						0	
合計			29	0	12	5	16	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

鳥屋野のハーフコートマンツーマンに対し、日野はオールコートマンツーマンで第1Qをスタート。両チームとも堅い守りでなかなか得点につなげることができない中、鳥屋野は#5、#7を中心としたOffから得点を積み重ねていく。一方日野は#11の1ON1からの連続得点でそれに対抗する。両チームとも持ち前のOff力をなかなか発揮できず、9-6で鳥屋野リードで第1Q終了。第2Qに入ると、鳥屋野#16、#15のリング下のシュートで突き放しにかかる。対する日野も#11のジャンプシュートで応戦するが、大事な場面でのフリースローを決めることができず、徐々に点差が広がっていく。これ以上点差を広げられない日野はタイムアウトを要求。しかし、勝負所とみなした鳥屋野は激しいDefから相手のミスを誘い、得点につなげ31-16で鳥屋野リードで第2Q終了。

第3Qに入り何とか追いつきたい日野は、果敢にシュートを狙うが得点につなげることができない。対する鳥屋野は#6、#5の怒涛の攻めで一気に突き放しにかかる。後のない日野はDefをオールコートに変え食い下がろうとするが、一度火のついた鳥屋野のOffを食い止めることができず、52-25で鳥屋野リードで第3Q終了。第4Q 日野は激しいDefから得点に結びつけようとするが、なかなか得点には結びつかない。鳥屋野は、#5のフリースロー、#7の速攻で着実に点差を広げていく。日野は#13のジャンプシュートと気迫あるプレーを見せるが、鳥屋野の冷静な試合運びで67-29で鳥屋野が勝利した。